

岡山リハビリテーション病院

2022年度 回復期リハビリテーション病棟の実績

①入院患者数	552人
②退院患者数	544人
③平均年齢	74.4歳
④発症～当院入院までの期間	33.0日
⑤平均在院日数 (入院期間)	76.6日
	脳血管疾患 85.0日 運動器疾患 62.0日 廃用症候群 76.8日
⑥在宅復帰率	87.3%
⑦平均病床稼働率	86.5%
⑧リハビリテーション 実施単位数	患者1人1日あたり 6.4

※①～③ 有効入院患者数 552人 (※回リハ入院料施設基準に準ず)

※④～⑦ 有効退院患者数 503人 (※回リハ入院料施設基準に準ず)

※⑧ 1単位20分

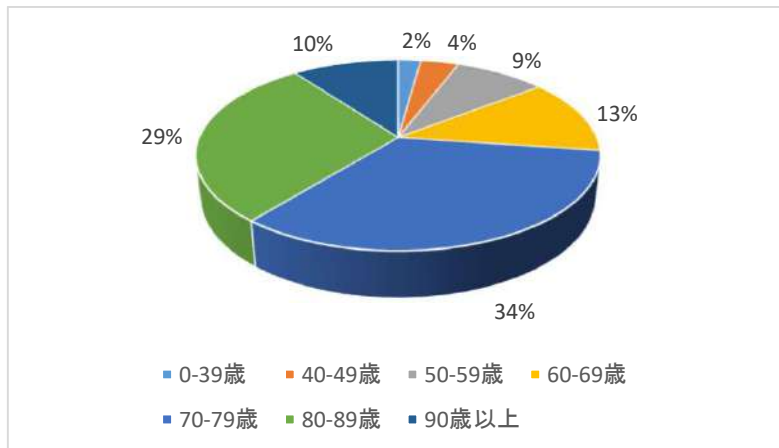
※統計表中の数字は、四捨五入による端数を調整していないため、内訳と計は必ずしも一致しない。

(参考文献) 回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書 2023年2月

入院患者年齢別割合

有効 552人

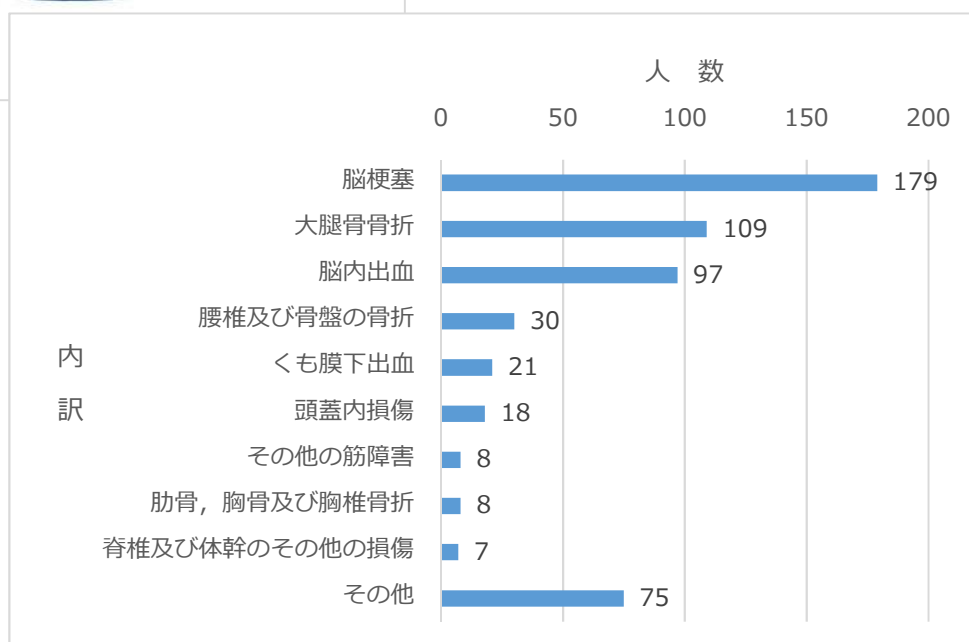
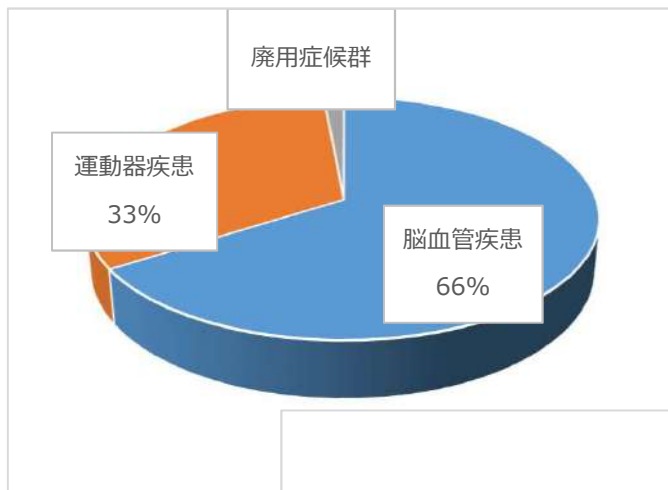
60歳未満の方は約15%となっています



疾患別入院患者数

有効 552人

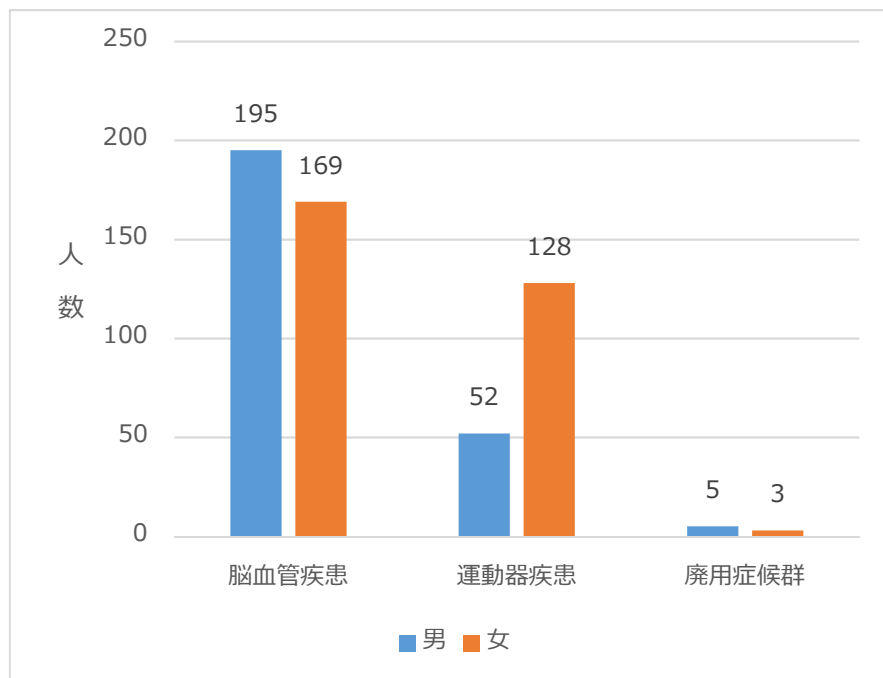
当院では、脳血管疾患は脳梗塞、運動器疾患は大腿骨骨折が最も多いです



疾患別男女比

有効 552人

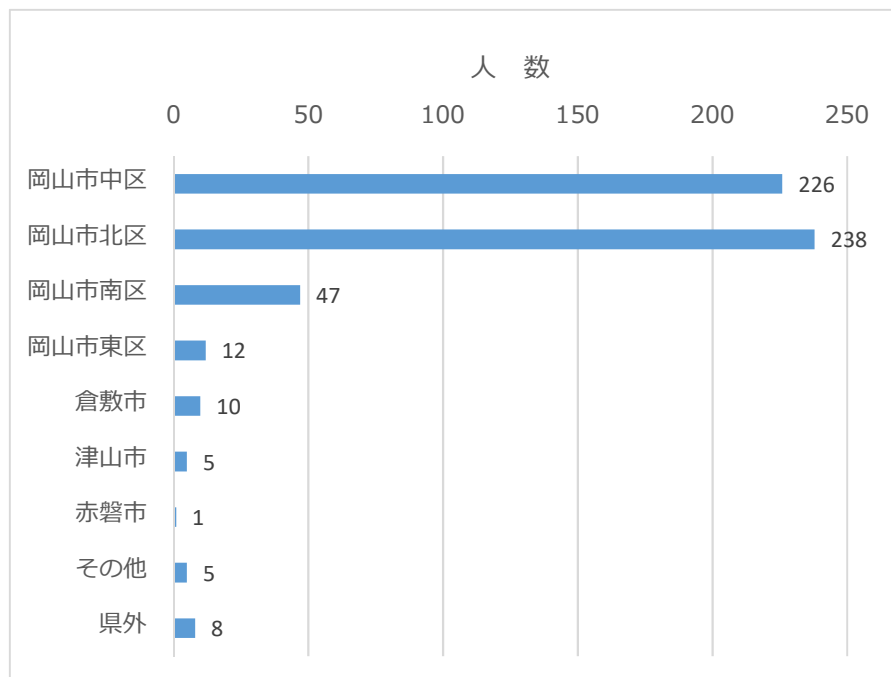
脳血管疾患は男性、運動器疾患は女性が多いです



紹介元医療機関住所地

有効 552人

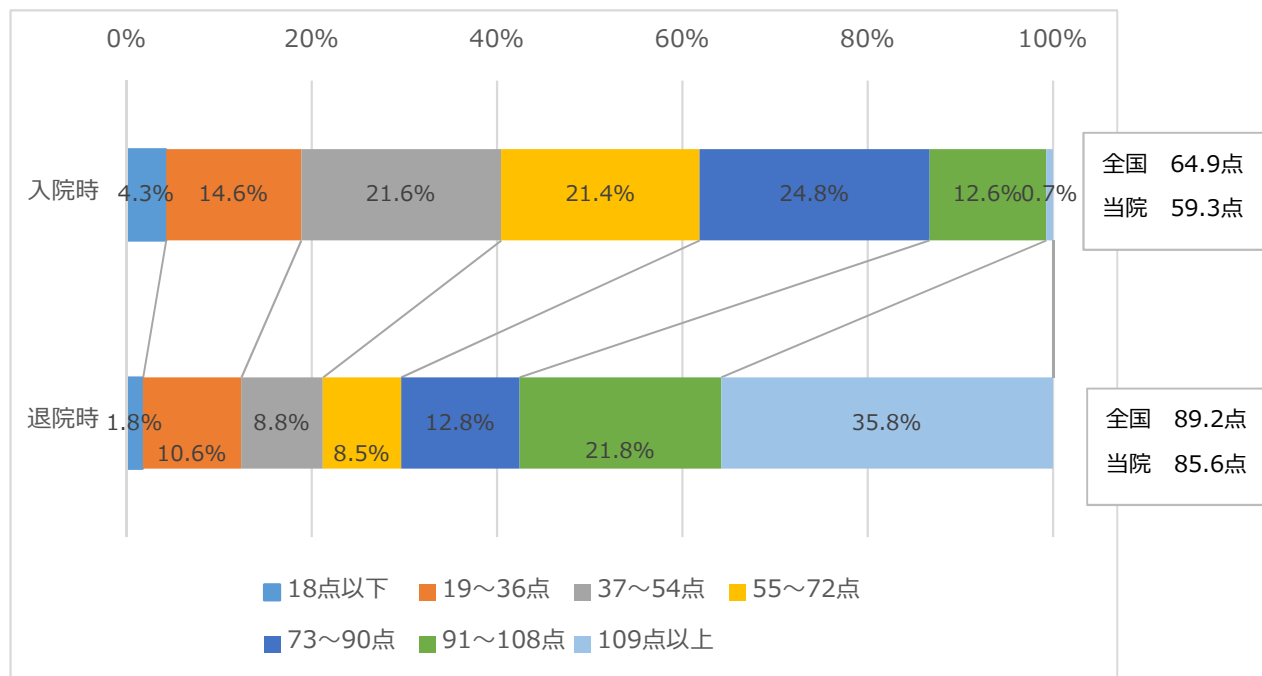
岡山市内の医療機関からの紹介が約95%です



ADL自立度の改善（FIM）

有効 503人

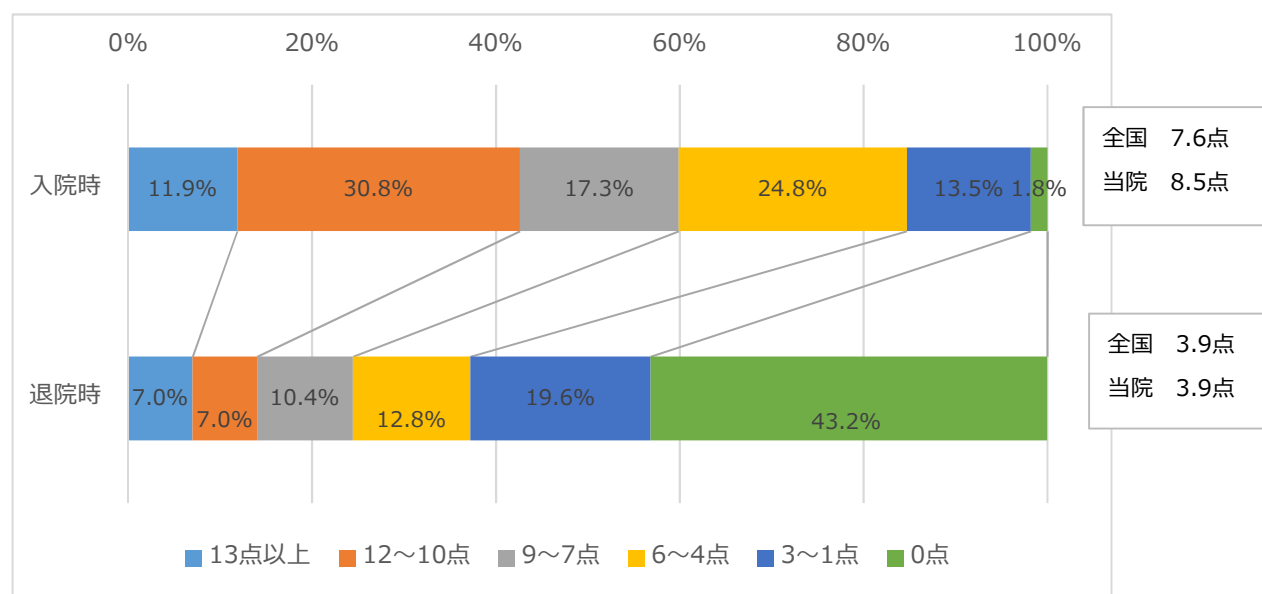
日常の生活動作の自立度を示す指標で、食事や移動などの“運動ADL”13項目と“認知ADL”5項目から構成されています。点が高いほど日常自立した生活が送れていることを示しています。最低18点／最高126点



ADL自立度の改善（日常生活機能評価）

有効 503人

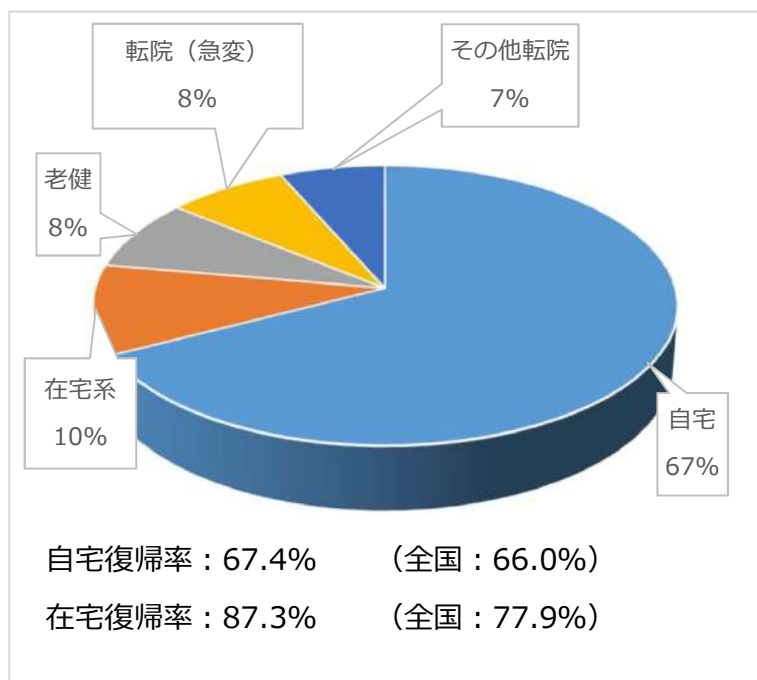
食事摂取や衣服の着脱、トイレ動作など患者さまが日常生活で必要とする機能の状態を示す評価です。総得点は0～19点で評価され、得点が高いほど自立度が低くなります。



在宅復帰率

有効 503人

在宅復帰率は約9割となっています

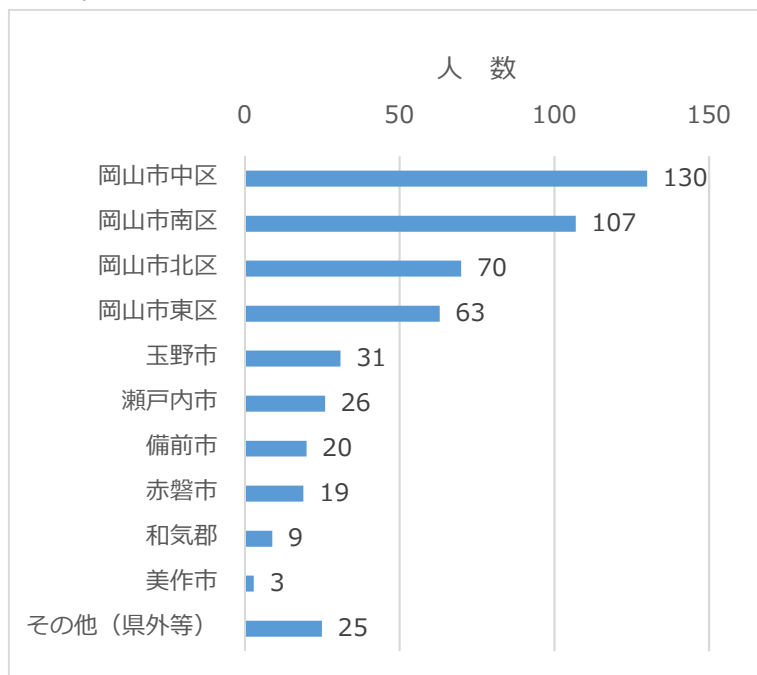


在宅系：退院先が、2018年度から自宅、特別養護老人ホーム、居宅系施設、養護老人ホーム、障害者施設の患者に加え、介護医療院を含む。

居住地

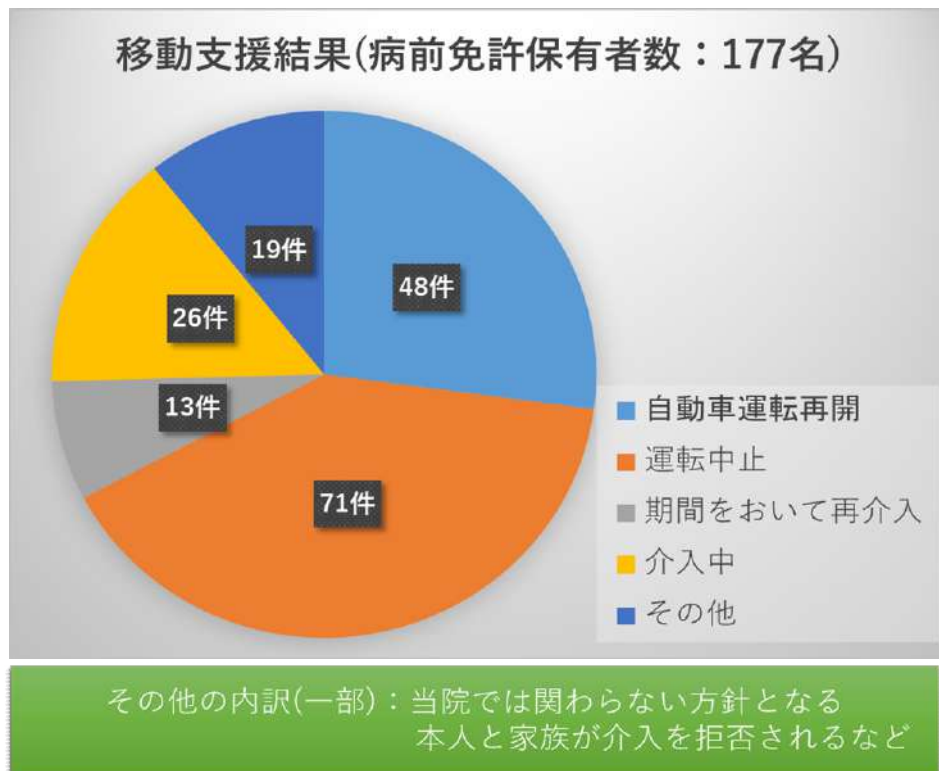
有効 503人

県南東部の方が約95%を占めています

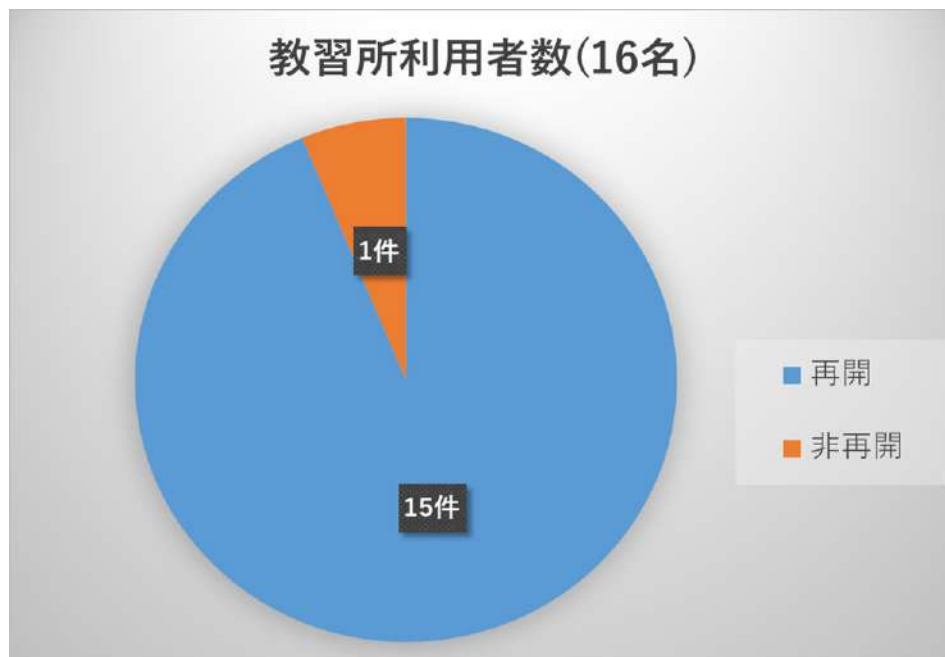


自動車運転介入に関する支援結果(入院患者)

入院前に自動車運転免許を保有されていたすべての方を対象にした介入結果



自動車教習所を利用された総数およびその結果



社会復帰支援の結果(退院患者)

当院入院時に就労されていた、もしくは65歳以下のすべての方を対象（122名）

